

国鉄千葉動力車労働組合
千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五（六）（公衆）〇四七二二七二〇七

国鉄「分割・民営化」阻止ノ三里塚二期着工粉碎!

「6.12」革マル・嶋田のデッチあげタレコミ

5年も前の「事件」あげつらい、停職発令の攻撃

今こそ動労本部・真国労革マルを粉砕・掃き

国鉄当局は、五月八日、何んと五年前の「六・一二事件」を口実に津田沼支部組合員・小倉邦夫君に対し、「停職一月」の処分発令を行ってきた。この事件がデッチ上げゆえに当局自身、処分することができずに五年たった今日まで放置されていたのである。この処分強行は、動労革マル・松崎II中曾根・杉浦連合によって、動労千葉つぶしの攻撃として出されたものである。自民党にすがりつき延命を乞い、国労・動労千葉つぶしに血道をあげる動労革マルを追放・一掃せよ。

労働者に襲いかかるのは 動労革マルの本性

そもそも「六・一二事件」とは、八一年六月十二日、動労革マルが、仙台・盛岡からの帰任者を動労千葉破壊の先兵に仕立て、デッチ上げ「千葉地本・土屋一派」の組織的ジリ貧現状を何んとか打破せんと様々な策動を行ってきた。しかし、動労革マルの本性を見抜いた帰任者の多くにソッポを向かれるや、彼らはあせりから、嶋田はコロビ屋となり「傷害事件」をデッチ上げ、津田沼支部組合員六名を権力に売りわたしたのである。今、動労革マルは、自民党にひれ伏し、鉄労にこびへつらい「真国労」をデッチ上げ、公然かつ隠然と国労解体にうってでている。左翼的ポーズをとって社共・

総評を口汚く罵り、労働者の仮面をかぶって闘う労働者の背後から襲いかかることを常套手段にし、動労ののつとりを図ってきた動労革マル・松崎は、今、動労革マルとして組織温存・延命するため自民党・当局、そして警察権力にまで平然と労働者を売りわたす反労働者の悪業を重ねてきている。

動労革マル打倒は 「分割・民営化」を粉碎する

中曾根・杉浦の先兵・動労革マルを絶対に許してはならない。中曾根・杉浦・動労革マルが一体となり、動労千葉・国労破壊を強行せんとしている。動労革マル打倒は「分割・民営化」粉碎にとつて決定的に重要となった。動労革マル打倒は、中曾根・杉浦そのものの危機であり「分割・民営化」粉碎をかちとることができるのだ。すべての国鉄労働者の怒りで今こそ動労革マルを打倒しなければならない。

動労「階級闘争」から転向

「分割」でも歩み寄り
松崎委員 鉄労路線で統一へ
松崎委員は、鉄労路線で統一へ、自民機関紙会見で発言

労働の伝統を喰いつぶし、右翼を質させろ 松崎
自民党の前にはいづくじり、自民党の手先に立つことを誓った松崎

明氏 現実を直視
反対ばかりでは、民権的手法は、国労には本力打てない、とみるのは分割、未来なし
自民党機関紙「自民新報」

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ!

